







花崗岩の岩山が連なる播磨アルプスの中央「播磨富士」と呼ばれる高御位山 切り立った岩山の山頂には麓からもよく見える大きな磐座があり、 高御位神社が鎮座する神の山で、 山頂の巨岩磐座から眺める360度の大パノラマ展望が素晴らしい。 眼下には水の入った田圃がキラキラ輝く加古川西岸の田園地帯が広がり 南側には 瀬戸内に面した広大な播磨平野・播磨灘の遠望、 北側には 丘陵地が続く田園地帯の奥遠く中国山地へと山々が続く 6月の初め この登山道一帯のの山腹には今は貴重になった薄ピンクの清純な 笹百合の花が咲き、多くのハイカーたちを魅了する。 この高御位山の北側山腹を登る志方成井の登山道は 高御位山をご神体とする高御位神社の参道道で、高御位山山腹の山襞をジグザク ながらほぼ真っすぐ緑に包まれた林の中を登る山頂への直登階段道。 里の人たちにより、よく整備された静かな安全な登山道 多くのハイカーにも愛されている。

私にとっては自宅から原チャリで駆けて2時間弱 四季折々訪ねる加古川西岸田園の里にそびえる山の一つです。







高御位山への道路標識を南に折れると正面に高御位山そびえ、山裾に田園が広がる志方成井の里に入り、 田園の中に大きな「高御位山登山口」の案内標識。「久しぶりに高御位山の笹百合に出会える」期待一杯で 正面に見える高御位山の山裾に駐車場のある登山口へ





















































































































